

シリーズ

「私の森語り」

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介いたします。

「木曽路はすべて山の中、
そこに長く息づく人々の暮らし、
そして何より笑顔を大切にしたい」



一般社団法人木曽人
理事長
山田 弘

■自己紹介

弊社は、木曽の木材、観光、製造等各産業を支えてきた人々の生き様、笑顔を発信し、木曽地域を活性化することを目的とし、社名にも木曽の人々への思いを込めています。

■活動内容

フリーペーパーの発刊、FMラジオの検討、様々なイベントの仕掛けと運営、ネットによる情報発信など夢いっぱい大風呂敷を拡げて活動を開始し、今年で十年目

を迎えます。お陰様でフリーペーパー「木曽人」の地域での認知度も上がり、今年九月には四十号発行となります。

■もう一つ

の事業として、廃業したドライブインの営業を再開しました。この施設のテラスからは、日本遺産、国定公園に指定されている「寢覚の床」を眺めることができ、全盛期には年間五十万人が訪れ、木曽観光の中心



ねぞめ亭 (外観)



フリーペーパー 木曽人



テラスから望む「寢覚の床」

地、ハブとして地域の発展に貢献してきました。しかし、御嶽山の噴火、大型バスの相次ぐ事故、道の駅開業などの影響を受けて来訪者が激減し、更にオーナーが病に伏したため、十一年前に閉館しました。その当時、「日本一観光客の減った町」という不名誉な烙印を押されてしまい、このままでは町の、そして木曽の観光、産業の危機だと感じ、施設を「ねぞめ亭」と命名して運営に乗り出しました。しかし一度減ったお客様の獲得は厳しく、今なお猛威を振るっているコロナにより、苦しい経営状況が続いています。

■メッセージ

現在もこれからも、官民一体となってこの観光施設を中心に活動・情報発信を続けながら、森林浴発祥の地である赤沢自然休養林、御嶽山、木曽駒ヶ岳など近隣町村の観光スポットへの誘客、送客を担ってまいります。

「木の国木曽」を町内外に、そして国内外に届くように、また、木曽がさらに活性化する一助になるよう発信し続けてまいります。

最後に、木曽では、二十年に一度の一大イベントとして、二〇二五年六月に上松町で「伊勢神宮御杣始祭」、木曽郡全体で盛り上げる「ご神木祭」が開催されます。併せて発信してまいりますので、どうぞ木曽へお越しください。

■連絡先

長野県木曽郡上松町
小川寢覚二四〇九
一般社団法人木曽人

